

かさま社協だより

No.39



編集・発行 2019.8.30

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



サロン「ぐうちよきば」

撮影 畠山

も く じ

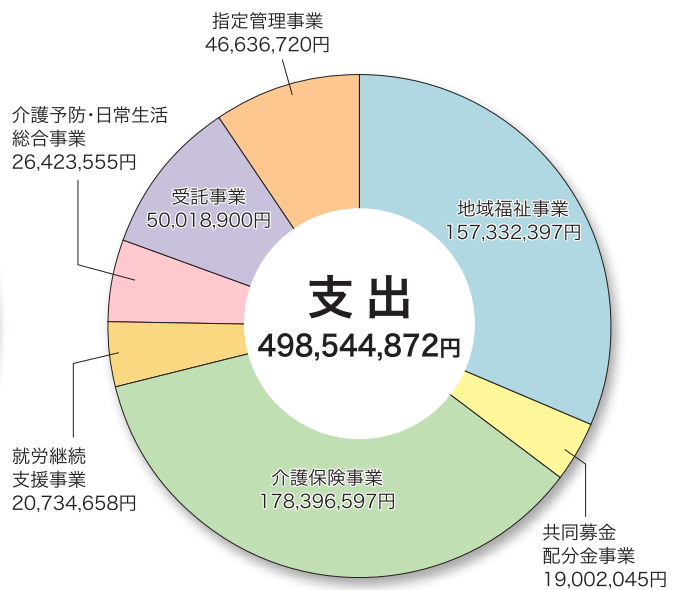
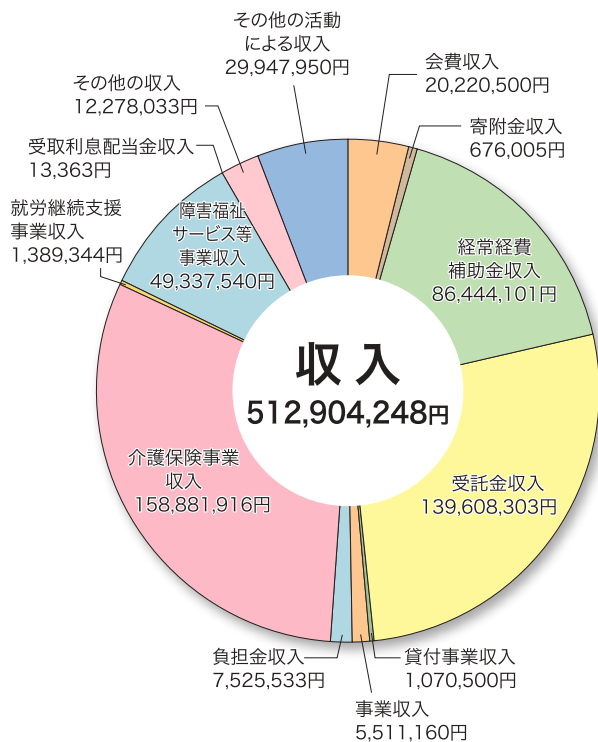
- ① 平成30年度社協事業報告および決算報告 2～3
- ② 社会福祉協議会役員の改選 4
- ③ 『社協』を知っていますか? 5
- ④ 支部・地区社協運営委員が決まりました・地域づくり研修会
・ちょっとまじめな話 6
- ⑤ ふれあいサロンをつくろう!・サロン「ぐうちよきば」
・サロンのいい話 7
- ⑥ ボランティアセンターだより 8～9
- ⑦ お知らせ 10



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。

および決算報告

資金収支決算



収 入		
事業活動による収入		482,956,298円
会費収入	20,220,500円	
寄附金収入	676,005円	
経常経費補助金収入	86,444,101円	
受託金収入	139,608,303円	
貸付事業収入	1,070,500円	
事業収入	5,511,160円	
負担金収入	7,525,533円	
介護保険事業収入	158,881,916円	
就労継続支援事業収入	1,389,344円	
障害福祉サービス等事業収入	49,337,540円	
受取利息配当金収入	13,363円	
その他の収入	12,278,033円	
その他の活動収入		29,947,950円
その他の活動による収入	29,947,950円	
合 計	512,904,248円	512,904,248円

支 出		
社会福祉事業		401,889,252円
地域福祉事業	157,332,397円	
共同募金配分金事業	19,002,045円	
介護保険事業	178,396,597円	
就労継続支援事業	20,734,658円	
介護予防・日常生活総合事業	26,423,555円	
公益事業		96,655,620円
受託事業	50,018,900円	
指定管理事業	46,636,720円	
合 計	498,544,872円	498,544,872円

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

平成30年度

社協事業報告

みんなでつくる福祉のまち（誰もが安心して暮らせる地域社会）

輪づくり

（地域福祉活動を推進します）

- ・支部（地区）社協活動の充実
- ・地域ケアシステム推進事業
- ・生活福祉資金、小口資金貸付事業
- ・心配ごと相談事業
- ・福祉機器貸出事業 / 備品貸出事業
- ・日常生活自立支援事業
- ・生活困窮者自立相談支援事業
- ・親子通園事業
- ・新入学児童祝金支給事業
- ・福祉団体の育成及び支援
- ・サロンづくり支援
（つどいの場）



地域づくり

（在宅生活の自立支援を推進します）

- ・在宅福祉サービス事業（子育て、移送含む）
- ・ふれあいサポート事業
- ・いきいき通所事業
- ・配食・会食サービス事業
- ・あんしん袋支給事業
- ・ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業
- ・障害者自立支援事業
- ・重度障害者訪問入浴サービス事業
- ・障害者福祉センター
- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・訪問入浴事業



人づくり

（ボランティア活動を推進します）

- ・ボランティア講座の開催
- ・福祉教育への支援
- ・ボランティアセンターの運営
- ・ボランティア連絡協議会の運営支援
- ・善意銀行の運営
- ・サークル活動への支援



基盤づくり

（社協体制の強化を図ります）

- ・理事会、評議員会の開催
- ・災害支援の強化
- ・定款及び諸規定の整備
- ・会員の増強
- ・共同募金運動の推進
- ・情報公開の推進
- ・広報誌の充実
- ・ホームページの充実



誰もが安心して暮らせる 福祉のまちづくりをめざして

理事・監事・評議員決まる

令和元年6月26日の評議員会において、理事10人、監事2人が選任され、その後の理事会において会長、副会長が選出されました。
なお、新たな理事の任期は令和元年6月26日（令和3年6月開催の定時評議員会終結まで）となっています。



会長
藤枝 政弘

市民の皆様には、日頃より笠間市社会福祉協議会の運営につきまして、格別なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、6月26日の役員改選におきまして、理事の皆様のご推挙を賜り引き続き会長に再任され身の引き締まる思いであります。

これからの超高齢社会を考えると、地域共生社会の実現に向けた取り組みも重要事業の一つとなつてきますが、権利擁護（成年後見）や障がい者の支援・子どもの見守り支援・生活困窮者の自立支援事業などもさらに発展させていかなければならないと感じているところでございます。

今年度、本協議会では第3次笠間市地域福祉活動計画の策定を予定しております。この活動計画は、令和2年度から6年度までの5年間の社会活動の基本的な方向性と具体的な取り組みを明らかにするもので、第2次活動計画の基本理念である「みんなであつくる福祉のまち」を踏襲しながらも、市民の皆様の声を少しでも多く取り入れ、共に支え合い助け合うことのできる地

域づくりを目指したいと考えております。
今後皆様とともに地域福祉の向上に取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副会長
鷹松 丈人

このたび、笠間市社会福祉協議会副会長に選出されました鷹松です。

選出に際しましては、その職責の重大さを痛感し、身の引き締る思いでございます。

時は、平成から令和へと新たな時代に移り変わりましたが、引き続き少子高齢化に伴う、一人暮らし高齢者の増加、社会的な孤立や生活困窮世帯への対応等、公的サービスだけでは解決できない諸問題が増え、社協の役割は益々重要度を増すばかりであります。その様な状況の中で、本会の基本理念であります「誰もが安心して暮らせる地域社会」をめざし、微力ながら責務を果たしてまいりたいと思

います。
地域の皆さまをはじめ、企業・事業所の皆さま方のご支援ご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

理事

氏名

選出区分

森昌子 福祉施設
山口玄子 ボランティア
藤枝政弘 学識経験者
鷹松丈人 学識経験者
小野瀬彰 区長会
鈴木守正 民生委員・児童委員
岡野博之 支部・地区社協
藤枝好博 高齢者クラブ
村上寿之 笠間市議会
下条かをる 行政関係者

監事

川井 健一
竹江 邦夫

社会福祉事業について
識見を有する者
財務管理について
識見を有する者



理事会

評議員

根本 玄
小室 和子
福祉施設
ボランティア

評議員会



苦情解決第三者委員

大月 裕美 学識経験者
小沼 弘行 学識経験者
川崎 幸良 区長会
芥川 麗子 民生委員・児童委員
小堀 晃 支部・地区社協
興野 政行 身体障害者福祉協会
栗林 敏子 介護者の会
中村 章一 人権擁護委員協議会
益子 康子 笠間市議会
堀内 信彦 行政関係者

評議員選任・解任委員

大関 利久
藤田 嘉昭
小菅 君枝
川井 健一
石田 俊夫
橋本由合子
海老澤清美

『社協』を知っていますか？



その①

社会福祉協議会は

民間の社会福祉活動強化
を目的に昭和26年に誕生

社会福祉協議会（社協）は、戦後間もない昭和26年に民間の社会福祉活動の強化を図るため全国・都道府県段階で誕生しました。

ほどなく市町村で組織化が進み、福祉活動への住民参加を進めながら現在まで一貫して地域福祉活動推進の中心的役割を果たしてきました。

地域住民、社会福祉の関係者などの参加・協力を得て組織され、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をあわせもっています。

住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命とする組織です。

住民主体の理念に基づき、地域が抱えているさまざまな福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、その活動を通して福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進をめざしています。

社協の仕事

輪づくり

支部・地区社協活動の充実／サロン（集いの場）づくり支援／イベント用備品の貸出など

地域づくり

在宅福祉サービス事業／配食・会食サービス事業／いきいき通所事業／介護保険事業など

人づくり

ボランティア講座の開催／福祉教育への支援／サークル活動への支援

基盤づくり

社協体制の強化／会員会費の増強／共同募金運動の推進／広報誌やホームページの充実など

※詳しくは、3頁参照

社協の財源

◎皆さまからの会費

◎共同募金からの配分金

◎皆さまからお寄せいただいたご寄附

◎市からの補助金・受託金

◎介護保険サービスによる介護報酬

◎その他

そのうち会費は、社協が地域福祉を推進するために実施する事業の独自財源として、最も重要なものです。

社協の活動は、皆さまの会費によって支えられています。会員になることによって、一人ひとりが「地域福祉」を自らの活動として受け止め、地域福祉活動に間接的に参加していただくという意味も込められています。

※詳しくは、2頁参照

地域福祉

平成12年の社会福祉法改正において、地域福祉という用語が初めて法律上用いられることとなり、「地域福祉の推進」として、理念規定を設け、誰が何のために行うべきものなのかを法律上明らかにしました。また、社協が「地域福祉推進を図ることを目的とする団体」と規定されました。制度によるサービスを利用するだけでなく、地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくっていくことです。

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを継続させていくことが求められています。そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力（自助）、住民同士の相互扶助（共助）、公的な制度（公助）の連携によって解決していくこうとする取り組みです。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

支部・地区社協運営委員が決まりました

【笠間地区】

支部・地区名	役 職	氏 名
こ う ゆ う 会	会 長	小 堀 晃
上 加 賀 田 支 部 「ま な だ け 会」	会 長	富 田 哲 夫
大 橋 支 部	運営委員長	森 和 以
来 栖 支 部 「来 栖 四 つ 輪 の 会」	会 長	〇 〇 岡 進
寺 崎 支 部 「し ん こ う 会」	会 長	志 村 謙 一
箱 田 支 部 「ふ れ あ い 会」	会 長	大 月 弘 之
下市毛支部（15区）	支 部 長	飯 塚 信 一
13区社会福祉協議会	運営委員長	古 木 滋
高 田 支 部	運営委員長	田 中 宏
稲 田 支 部 「み か げ 会」	支 部 長	高 橋 一 夫
池 野 辺 支 部	支 部 長	井 口 清
福 原 支 部	支 部 長	深 谷 敏 知
安心ネットワーク柏（20区）	運営委員長	久 保 田 明

【友部地区】

〈敬称略〉

支部名	役 職	氏 名
穴 戸	支 部 長	雨 谷 高 市
東	支 部 長	鈴 木 義 雄
中 央	支 部 長	入 江 廣
大 旭	支 部 長	小 野 武
北 川 根	支 部 長	鈴 木 裕
大 原	支 部 長	須 藤 敏 夫

【岩間地区】

地区名	役 職	氏 名
上 押 辺	運営委員長	山 辺 充 央
吉 岡 2	運営委員長	神 衛
下 安 居	運営委員長	軽 部 はるみ
土 師	運営委員長	中 里 節 男
南 部	運営委員長	岡 野 博 之
安居東部	運営委員長	田 口 勝 己
新 渡 戸	運営委員長	数 納 亨
参 り 坂	運営委員長	藤 田 繁 好
岩 間 西 部	運営委員長	生 駒 敏 文

地域で困っていること、地域に足りないもの、あったら良いものなどを住民同士で「話し合う場」の必要性を感じてもらおうと笠間市と共催で研修会を開催しました。

第一部は、県保健福祉部健康・地域ケア推進課江橋将哉氏から「地域づくりの話し合いを始めてみませんか？」と題し、人口減少、少子化、超高齢社会の課題、国の取組みなどを話していただきました。地域活動に参加されている方は認知症や介護の予防につながる「話し合いの場」が大切であることも他市町村の事例をあげて話されました。

第二部は、市職員と社協職員による「クイズ笠間市を知ろう」で、笠間市の人口、出生数、病院のベッド数など身近なことでも意外と知らないことが出されました。

地域のことを考えるには、地域のことを知らなければなりません。今後「地域で話し合う場」を作りますので、ご協力をお願いいたします。

（事務局）

6/20

第1回地域づくり研修会

友部公民館
117人参加

日本ファシリテーション協会フェロー徳田太郎氏を講師に「話し合いの進め方について学ぼう」のタイトルで講話と話し合いの体験を行った。1班4人、17班に分かれ、班内の話し合いが始まる。

講話では、「よりよい話し合い」の4つのポイント、①会する（話し合いの場をつくる）②議する（話し合いを活性化）③決する（話し合いを構造化する）④動く（対立解消・合意形成する）について、話し合いを行う上での注意点をふまえた説明があった。

説明のなかで、「①の『ゴール』と『進め方』を明確化し、共有する。③のみんなの見えるところに、みんなが見えるように・リアルタイムで書きながら話しあう」が、特に印象に残った。

（高野）

8/6

第2回地域づくり研修会

市民センターいわま
75人参加



講師とのディスカッション

ちょっとまじめな話

内閣府が今年度行った全国の60歳以上を対象にした調査にて、死亡後に発見される「孤立死」に、34%の方が「身近に感じる」と回答したとのこと。この数字が表すところは、地域との繋がりが薄く、見守りなどの支援を必要としないながら行き渡っていない方が既に多い実態と、今後さらに増加するだろうということが浮き彫りとなりました。さらに、笠間市においては65歳以上の年齢別人口割合が全国平均値より高く、19年度では31・4%を占め、2045年頃には、44%超となる試算もあります。

悲観したくなる統計ですが、未来に向かって今、私たちは年齢や性別、障がいなどに関係なく手を取り合い安心して暮らす地域社会をつくるため、一人ひとり何が出来るか自分のこととして考え、次の世代に繋いでいく分水嶺ではないでしょうか。

（入江）

笑顔

ふれあい

思いやり

あふれる まちづくりをめざして ふれあいサロンをつくろう!

笠間地区

広範囲の方と交流し、知識を深めましょう
サロン「ぐうちよきぱ」 代表 館 成子(91歳)

はじめまして。サロン「ぐうちよきぱ」は平成29年8月に発足致しました。

カラオケ

第2・第4金曜日と、月の最終日曜日 月3回 時間 1時～4時

(喉・肺を鍛える為自由に歌って居ります)

短歌

第2日曜日 1時～3時
いくつか作ったものを先生に添削していただいて居ります。

(頭の体操です)

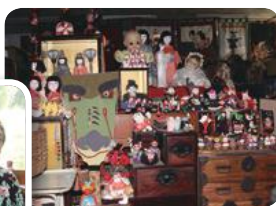
手芸

第3金曜日 1時～4時
自分で作りたいものの、ブローチ・人形・タペストリー等作って居ります。先生が材料をそろえて教えてくださいます。時にはお料理(レンジでチン)をする事もあります。(手先の運動です)



他の地域の方大歓迎です。気軽なおしゃべりの会なのでいつでも参加してください。広範囲の方と交流し知識を深めましょう。お待ちしております。

手芸は用意がありますので事前に申込んでください。



館さんの作品

まおは私から♪



◆問い合わせ先
社会福祉協議会笠間支所
TEL 0296 (73) 0084

身近で気軽に集える
場所をつくりませんか

地域住民が主体となって、身近な地域において、高齢の方や障がいをお持ちの方、その家族、子育て中の方などが気軽に参加でき、孤立感の解消、地域の見守りならびに閉じこもりや介護予防・健康の維持向上を図ることを目的に、楽しく仲間づくりを行う活動です。

サロンは「高齢者の生きがいづくり・健康づくりの場」だけではなく「地域の人たちの顔つなぎの場」、そして新たな活動につながる『生活課題の発掘の場』でもあります。

笠間市社協では
こんなお手伝いをします。

○立ち上げのお手伝い

○他のサロンとの交流や
情報交換の場づくり

○実施・運営に必要な活動
経費の一部助成

お気軽にご相談ください。

◆問い合わせ先
笠間市社会福祉協議会
TEL 0296 (77) 0730

サロンのいい話

「サロンに参加してよかった……」。いつもその話をしているのは、長兎路地区のAさん。というのも、サロンがきっかけで、とてもおめでたいことがあったからです。「ふれあいサロン兎」は、平成29年4月に開設。ここに参加したAさんは、運営ボランティアの一人であるBさんとは遠縁にあたります。しばらく顔を合せていなかった二人は、20年ぶりに喜びの再会を果たし、昔話に花が咲きました。その中で、BさんはAさんのお孫さん(40代)が、未婚であること聞かされました。そこでBさんは、前から誰かいい人がいたら紹介したいと思っていた、知り合いの娘さんをAさんのお孫さんに引き合わせました。するとトントンの拍子に話が進み、なんと、二人はめでたくご成婚となりました。昔は、どこにでもあった地域の縁結びの力が、サロンで見事に復活。お二人には、サロンがつないだ縁を大切に、幸せな家庭を築いてほしいと私も心から祝福しています。(矢口)



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」は、「こころの医療センター」の見学会を行いました。
「夏休みわくわく体験教室」が、ボランティア会員を講師に、友部・笠間・岩間の3カ所を会場として、3部門「福祉8教室」「物づくり10教室」「クッキング5教室」に分かれ開催されました。各教室とも大盛況で、子供たちの真剣な眼差しが感動的でした。
笠間市ボランティア連絡協議会総会が開催されました。
2回開催された「チャレンジボランティアスクール」には沢山の参加者がありました。

「第二火曜日の会」

7/2

「こころの医療センター」見学会

29人参加

「こころの病」についての理解と対応についてと題して、こころの医療センター福祉連携サービス部の鈴木寛さんよりお話をうかがった。平成23年4月に県立こころの医療センターと名称を変更する前は、県立友部病院として、社会復帰促進を念頭において積極的な開放的治療を導入していた精神科病院だった。平成23年10月にリニューアルオープンし、精神科一般外来、薬物専門外来、睡眠外来と病床数276床の入院施設がある。1日約300人が来院することだ。

昔は統合失調症が大部分を占めていたが、今は統合失調症、うつ病、躁うつ病、発達障害、認知症、薬物依存、アルコール依存、パーソナリティ障害、ゲーム障害と多種多様である。

精神疾患は決して珍しくなく日本で約390万人、そのうち入院患者は約一割で、ほとんどの患者は地域で生活している。患者が退院してから地域で安定して生活していくために

は、地域の皆さんとの連携が重要になってくる。そのために地域に開かれた中核病院を目指し、地域医療へのバックアップや医療ネットワーク作りに力を入れている。



デイケアに通う患者さんをボランティアサークル「やすらぎ喫茶」は、家族会と協働し社会復帰を目指す方々の手助けをしている。

病院は、空間、緑、光を大切に、デザインや構造にさまざまな工夫がされている。エントランスを入った奥は吹き抜けのカフェテリアになっていて、地域住民も利用することが出来る。名物のカレーうどんをおいしそうに食べる親子がいた。



水鉄砲



紙鉄砲

クッキング

- 7/27 そば打ち (ともべA館)
- 7/29 手打ちそば (いわま)
- 8/1 ジャムづくり (ともべB館)
- 8/5 楽しいおやつづくり (いわま)
- 8/7 パンづくり (いわま)



物づくり

- 7/21 竹細工 (水鉄砲) (ともべA館)
- 7/21 竹細工 (紙鉄砲) (ともべA館)
- 7/23 折り紙 (いわま)
- 7/29 貝殻水族館 (ともべA館)
- 7/31 はり絵 (ともべA館)
- 8/1 ゴキちゃんコロリ (かさま)
- 8/2 つるし飾りづくり (ともべA館)
- 8/5 筆立て (いわま)
- 8/5 パステル和みアート (かさま)
- 8/7 工作 (かさま)

福祉体験など

- 7/28 防災訓練 (ともべA館)
- 7/29 手話 (いわま)
- 7/29 みんなで楽しく体操ゲーム (いわま)
- 7/30 手話 (ともべA館)
- 7/31 点字 (いわま)
- 8/1 点字 (ともべA館)
- 8/2 スクエアステップ (いわま)
- 8/8 手話 (かさま)

赤い羽根
共同募金



令和元年度

夏休みわくわく体験教室

7月21日～8月8日
友部、笠間、岩間で23教室

参加者 443人
協力ボランティア 196人

社会福祉協議会で活動しているボランティアの皆さんを講師に、福祉に触れ、体験の中から福祉活動やボランティア活動を理解してもらおうと、今年も社協3カ所を会場に福祉体験(8教室)、物づくり教室(10教室)、クッキング(5教室)が開催されました。



「ふれあいサロン来栖」 塩田会長から地域助け合いを学ぶ
(5/13 笠間支所にて)

ボランティア

住みよいまちづ

令和元年ー笠間市ボランティア連絡協議会ー 総会 新たな役員でスタート

令和元年6月10日、笠間市ボランティア連絡協議会総会が開催されました。

協議会の役員は、各支部の会長・副会長・会計で構成され、市内でボランティア活動をしている団体や個人の横のつながりを大切に、地域福祉の推進や、情報交換、交流などを行うことを目的に設置されています。

また互選により、役員改選も行われました。今年度は笠間が担当となっています。

笠間市ボランティア連絡協議会役員

任期 令和元年6月～2年間
会長 強口 玄子(岩間)
副会長 小室 和子(笠間)
〃 川澄 清子(友部)
会計 木村 実(岩間)
各支部でも役員改選が行なわれました。

●笠間支部総会 5月13日

会長 小室 和子(ハイポート)
副会長 大嶋 悦子(ひめはる)
〃 川松美佐子(レクシオン)
会計 飯田 一江(秋桜)
ボランティア登録 462人
サークル 16

●友部支部総会 5月20日

会長 川澄 清子(旭フレスポ
健康体操の会)
副会長 千葉 倫夫(みちくさ)
〃 山本 信子(やすらぎ
契茶)
会計 池田 和輔(麺友会)
ボランティア登録 721人
サークル 38

●岩間支部総会 5月28日

会長 強口 玄子(つむぎの会)
副会長 堀川 泰三(協カ隊)
〃 渡辺 美子(ササキ
ササキ)
会計 木村 実(四つ葉の
クローバー)
ボランティア登録 219人
サークル 23

これからのボランティア活動の充実などに向け活動が期待されます。

お知らせ

令和元年度の福祉バザーの日程が決まりました。
10月20日(日) 友部公民館
11月2日(土) 笠間芸術の森公園
11月9日(土) 市民センターいわま
バザー用品のご寄付は週報でお知らせしますので、事前の持ち込みはご遠慮ください。

チャレンジボラ

今年も、中・高・大学生を対象とした「チャレンジボランティアスクール2019」を開催しました。

7/28 チャレンジ① 復興支援ボランティア

2年ぶりに宮城県へ復興ボランティアに行きました。大川小学校跡地で清掃活動を31人の参加者で行いました。



大川小跡地での清掃活動

8/6 チャレンジ② 茨城福祉工場見学会

笠間市鯉淵にあります茨城福祉工場の見学と交流会に11人が参加しました。

普段なかなかできない貴重な体験ができ、新たな発見も得られたのではないのでしょうか。

ボランティアのひとりごと

先日、青春時代を共に過ごした昔の職場の友人達に会う機会があった。待合せ場所、そばに居るのに3年ぶりの時間の流れは、すぐには判らず、若さだけが取り柄だったメンバーも70歳代になっていた。若くして夫を亡くし、自分も病気を抱えながら義母とシングルマザーの孫の世話をしていた人も、最近義母を看取ったとほっとした様に話している。

百歳過ぎの実母を送り、ようやく自由になれたと言っていたのに施設にいる叔母を遠方から毎月訪ねている人。バッシングに負けず定年退職した人は女が定年まで勤めるのは本当に大変だったと言う。夫の遺産を巡り子供達の確執に悩む人など平凡に見える裏側にはさまざまなドラマがあると皆の話を聞いていた。そういう私も両親を送り次は老後を考える番だ。静かな余生であって欲しいと思う。(Y子)

◆問い合わせ先

笠間市ボランティアセンター
TEL 0296 (78) 2626



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



平成31年1月1日～令和元年6月30日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ、使用済み切手等

有限会社伊藤石材工業
岡本興業株式会社
県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
泰栄電器株式会社
岩間第一小学校児童クラブ
認定こども園大成学園いなだこども園
有限会社笠間給食センター 従業員一同
生長の家茨城県教化部 白鳩会
ともべ保育所
いわま保育園
穴戸小学校児童クラブ
有限会社 清水工務店
大沢保育園
額田 義文
大原小児童クラブ(ポプラの会)
稲田中学校 環境福祉委員会
友部東特別支援学校
アオトプラス株式会社 友部工場
(故) 高橋 龍己
ありんこ
さくら幼稚園
いきいきステップ下市毛
大沢中3区
みか保育園
くすす保育所
佐藤書店
ナブコシステム株式会社 茨城支店
下安居地区社会福祉協議会
土師地区社会福祉協議会
ポプラクラブの会

めぐみこども園

岡本興業株式会社
不二製油株式会社 関東工場
友部第二中学校
青葉町長寿会
飯田自動車有限会社
青木 よし
ともべ幼稚園
ガールスカウト茨城県第30団
株式会社 クエ
こころの医療センター デイケア
岩間第一小学校
おしのべ保育園
高齢者クラブ 旭台睦会
カントリークラブ ザ レイクス
サービス付高齢者向け住宅スマイル
笠間市手をつなぐ育成会
川松 美砂子
岡野 けい子
岩間中学校
稲田小児童クラブ
真知美容室
笠間市立みなみ学園児童クラブ
すみれこども園
居宅介護支援事業所 やまびこ
大沢保育園
赤沢 三男
持丸 一幸
イチカワユニオン岩間支部
友部小学校児童クラブ
ひまわり保育園
匿名

日用品等

笠間市手をつなぐ育成会

育児・介護用品等

川上 美奈子

食品等

斉藤農園
匿名

金 銭

笠間市あすなる友の会	¥7,955
有限会社笠間給食センター 従業員一同	¥7,621
常井 幸子	¥5,357
鈴木 良金	¥2,769
阿亀親睦ゴルフコンペ	¥43,831
笠間市ボランティア連絡協議会 友部支部	¥50,000
ごみを考える会	¥5,000
青葉町長寿会	¥20,704
飯田自動車有限会社	¥13,598
日本入歯リサイクル協会	¥5,421
バザー夢工房	¥107,000
岩間ライオンズクラブ	¥50,000
打越 忠男	¥6,849
匿名	¥37,422

職員募集

令和2年4月1日付採用の職員採用試験を実施します。

1. 職種(採用予定人数)

事務職(1名) 介護支援専門員(2名)

2. 募集要項

- ・笠間市社会福祉協議会ホームページに掲載します。
- ・当協議会窓口で配布します。

訂正とお詫び

社協だよりNo.38の善意銀行預託者紹介の中で、記載もれがありました。お詫びを申し上げるとともに掲載させていただきます。

岩間第一幼稚園 使用済み切手

訂正とお詫び

平成30年度の会員会費報告書において、誤りがありましたので、お詫びを申し上げるとともに訂正いたします。

- 住吉本宿 [誤] (株) 伊勢丹友部スクエア
[正] (株) 伊勢基友部スクエア
- 住吉新宿 [誤] (有) 加倉井鉄金工業
[正] (有) 加倉井板金工業
- 南小泉1 [誤] 穴戸ヒルズカントリークラブ
[正] 穴戸ヒルズカントリークラブ

「令和」になってから初めての広報誌をお届けします。
4月1日、テレビ画面に「令和」の文字が映し出された時、私はドキッと。そこに自分の名前「令」という字が。
わが国の元号は、「大化」から「令和」まで、実に28の元号が続いていて、今回は日本の古典である「万葉集」から引用されたとのこと。「令」の意味を改めて知ることになり、名付けてくれた今は亡き両親に感謝です。
今号は「地域づくり」を取り上げ、超高齢社会へ向けて考えたいと思います。
(関 令子)

編集後記

令和元年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

月	笠間支所 社協笠間支所	本 所 地域福祉センターともべ (旧友部社会福祉会館)	岩間支所 地域福祉センターいわま (旧岩間保健センター)
9月	10日・24日	11日・25日	5日・19日
10月	8日	9日・23日	3日・17日
11月	12日・26日	13日・27日	7日・21日
12月	10日・24日	11日・25日	5日・19日
1月	14日・28日	8日・22日	16日

法律相談 ※事前に心配ごと相談所へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250